

GLU グルコース

発色：淡黄→淡紫→紫

測定原理：酵素を用いた 4- アミノアンチピリン法

測定範囲：0.5 ～ 20.0 mg/L (ppm)

試薬：WAK-GLU チューブ

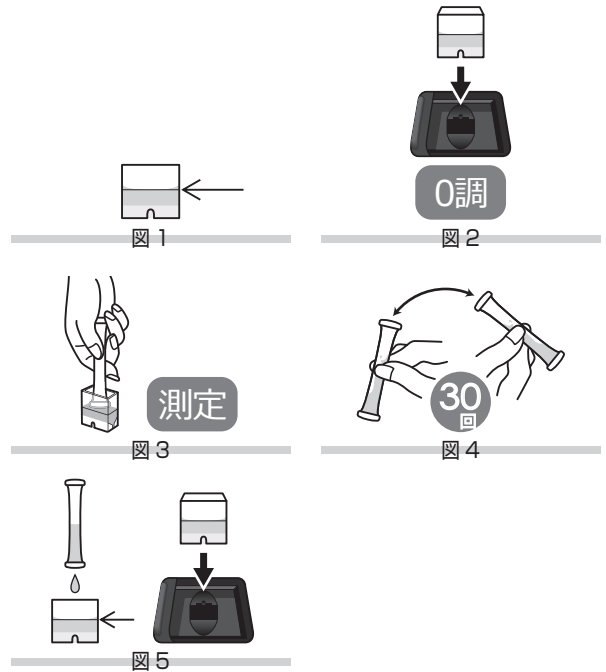
測定時間：チューブに吸い込み後 12分

セル：専用カップ

使用波長：539 nm, 610 nm

測定方法

- 1.【GLU】を押します。
- 2.【決定】を押し、測定画面に切替えます。
3. 検水を、専用カップに1.5mL(線まで)採ります。(図1)
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
5. パックテストのチューブに、専用カップの検水を全量吸い込み、同時に【測定】を押します。(図3)
6. 5. のチューブを軽く30回振り混ぜます。(図4)
7. すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし静置します。(図5)
8. 経過12分後に濃度が自動表示されます。
プリンタが ON 状態であればプリントアウトされます。



注意

1. 発色時の最適 pH は 7 です。pH が 6 ～ 9 の範囲をこえる検水は希水酸化ナトリウム溶液または希硫酸等で中和してから測定してください。
2. 検水の温度は 20 ～ 30℃ で測定してください。水温が 20℃ より低いと測定値が低くなる場合があります。

共存物質の影響

内蔵の検量線は標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準液添加法により測定値を確認してください。右表は、標準液に単一の物質を添加した場合の影響データです。

海水は濁りを生じるため測定できません。

残留塩素や過酸化水素などの酸化性物質によっても発色する場合があります。

また、還元性物質が発色を弱める場合があります。

1000mg/L以下は影響しない	…B ³⁺ (ほう酸)、Cl ⁻ 、F ⁻ 、I ⁻ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、NO ₃ ⁻ 、PO ₄ ³⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、くえん酸、こはく酸、酒石酸、フルクトース、スクロース、ラクトース
500mg/L	// …Mo ⁶⁺ (モリブデン酸)、NO ₂ ⁻ 、Zn ²⁺ 、シリカ
200mg/L	// …Mn ²⁺ 、Ni ²⁺ 、でんぷん
100mg/L	// …Ba ²⁺ 、Co ²⁺ 、Cr ³⁺ 、フェノール
50mg/L	// …Ca ²⁺ 、Cr ⁶⁺ (クロム酸)、陰イオン界面活性剤
20mg/L	// …Al ³⁺ 、CN ⁻ 、ガラクトース
10mg/L	// …Ag ⁺ 、Cu ²⁺ 、マンノース、陽イオン界面活性剤
5mg/L	// …Fe ³⁺
少しでも影響する	…Fe ²⁺ 、残留塩素、マルトース

試薬に関するお知らせ

パックテストに付属の使用法をご参照ください。

測定液は約 pH7 です。